

KS-Remastaの人気2シリーズをクラス別に一挙比較

現代の鏡面加工導体によるStageと
ヴィンテージ線のVWSそれぞれの音を探査

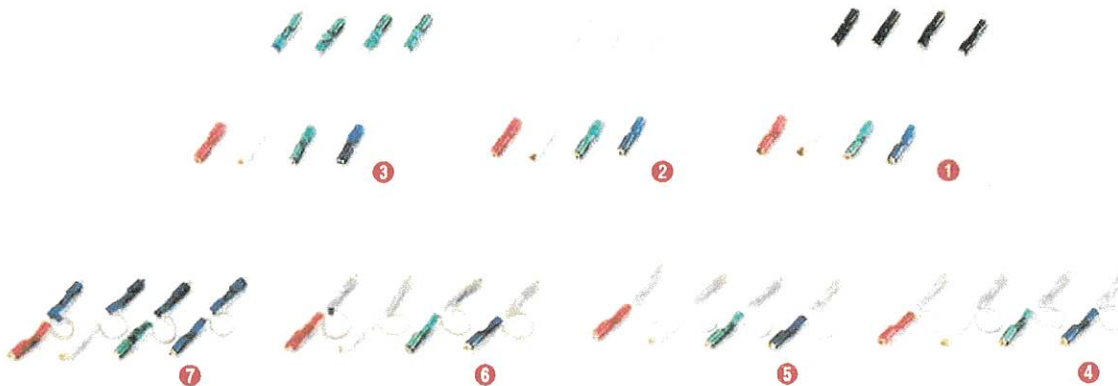
KS-Remasta

Text by

炭山アキラ

Akira Sumiyama

Photo by 田代法生

代表的な2つのシリーズを
3つのクラス別に比較試聴

膨大な種類を擁するKSリマ

進化を遂げた第二世代 鏡面加工導体Stageシリーズ

① KS-Stage 121EVO.I

¥16,500(税込) 鏡面加工Stage1グレード(10000番仕上げ)

② KS-Stage221EVO.I

¥27,500(税込) 鏡面加工Stage2グレード(20000番仕上げ)

③ KS-621EVO.I-VK

¥66,000(税込) 鏡面加工Stage6グレード(60000番仕上げ)

深化を果たしたVWSシリーズ2022年モデル

④ KS-VWS-Frontier.I/N

¥16,500(税込) ●導体・1950年代ブラックエナメルナイロン系巻ワイヤー・0.37mm単線

⑤ KS-VWS-REX.II/N

¥27,500(税込) ●導体・1910~30年代絹糸巻ワイヤー・0.4mm単線

⑥ KS-VWS-Tempest.I/NVK

¥55,000(税込) ●導体・1920~40年代鍍金浸糸巻ワイヤー・0.2mm単線

⑦ KS-VWS-Tempest.I/SR-NVK

¥88,000(税込) ●導体・1920~40年代鍍金浸糸巻ワイヤー・0.2mm単線

◆Stageシリーズ共通 ●導体:海外製高純度OFC 0.6mm単線、鏡面加工仕上げ ●全長:約43mm ●ハンダ:KS-Remasta EVO. I

◆VWS(ヴィンテージワイヤー&ソルダー)シリーズ共通 ●ハンダ:KS-Remasta選定N(ナチュラル) ●全長:約37mm

◆全モデル共通 ●数量:4本組 ●チップ:金メッキ腐食銅、テーパー加工(カードリッジ側1.2mm、シェル側1.0mm標準、1.2mmも受注可)

※DL-102モノラル仕様、MITCHAKU-Zシェル用(全長85mm)他、全長100mmまで同一価格

※第二世代Stageシリーズ発売記念としてKS-Stage221EVO.I(¥27,500 税込)を期間限定(2022年12月31日まで)特別価格20%OFF(¥22,000・税込)で販売

スタのシェリッドだが、大きな二本柱は「現代の鏡面加工導体によるStage」と「ヴィンテージ線のVWS」と言っ

よいだろう。もちろんその両者とも、柄沢伸吾氏の匠の技をどう発揮するかによって最大で数十倍の価格差が生じ、同じ線材を使ってもとてもない音の違いが生ずる。それではStageとVWSの同クラスを聴き比べると、音質や音楽ジャンルとの相性はどうか表現できるだろうか。この度は1万円台のベースクラスからレギュラー生産品のハイエンドまで、前者3モデル、後者4モデルを聴き比べた。

●ベースモデルを比較し5000円クラス
まず「ベースモデル」のStage 121を聴くと、たいへんな張り出しとパワー、輝かしく音場の広がり現代オーディオに十分対応する。一方のVWS・Frontierは、蛍光灯から白熱灯に照明を変えたような質感で少々光量を落とし、その分陰影の表現に長ける。ちよつと古めのジャズやモノラル音源などに向くのではないかと、思わせる質感である。

●レファレンス級を比較し25000円クラス
続いて「レファレンス級」へ進む。Stage 221は、あふれる勢いで聴かせていたんだなと痛感する。隅々まで光が当たった表現の現代性はそのままに音像に磨きをかけ、音場

の見晴らしも格段に向上する。2倍弱の価格差だが、音質の差はもつと隔絶している。対するVWS・REXは白熱灯の輝度上がり、物陰に隠れていた音楽のディテールが浮き出してくる。こうなると古い音源だけでなく、最新の優秀録音も確かな陰影を伴った好ましい表現を聴かせてくれるようになる。魅力的な音だ。

●ハイエンド級を比較し50000円超クラス
「ハイエンド級」のStage 621は、豪胆極まりないパワーにカミソリの切れ味と精妙な繊細さが加わり、隙のない剣豪の凄みを感じさせる。VWS・Tempestの方は豊かなコクと陰影の中にパワーと切れ込みを加え、表現の方向性こそ違いがStageの解像度やレンジ感に近づいてきた。

●スペシャルモデルをレポート
最後にVWS・Tempestの可能性をさらに追求したSR-NVKver.を聴いた。コクと陰影の世界をそのままにStageの持ち味たる力感や切れ味を備え、まさに真の万能という趣がある。私はこれまでStageの方向で音を煮詰めてきたが、VWSの世界観へ改めて惚れ込んだ次第だ。